

令和 8 年度 第 2 回金沢市DX会議 発言要旨

【日時】 令和 8 年 8 月 3 日（月） 15:00～16:30

【場所】 金沢市役所第一本庁舎 兼六会議室

○報告事項 1 「金沢市 DX アクションプラン 2.0」の部局ごとの事業数について

※事務局より報告のみ

○報告事項 2 令和 7 年度委員提言への対応状況について

※事務局より報告のみ

○議題 1 AI の活用について

- 生成 AI の活用について、他自治体の事例だけでなく、庁内の事例の横展開も検討した方がよい。
- 現在利用している生成 AI の利用継続前提ではなく、AI エージェントなど生成 AI の進化を踏まえ、常に最適なツール選定を行うべき。
高性能な生成 AI を導入する自治体と、そうでない自治体を比較すると、生成 AI の活用において差が出てしまうだけでなく、働き方改革や職員採用にも影響する可能性がある。
- AI の登場により、オープンデータカタログサイトへのアクセスが急増しているという事例が他自治体であるようなので、データを保有している側の負担上昇も考慮していかなければならない。
また、BI ツールのようなデータの可視化も、生成 AI で可能になってきている。
- AI を活用するほどコストも上昇するため、それによってどう付加価値が上がったかというところも見据えていかなければならない。
資料 18 ページに「生成 AI の利用方法とその効果を実感できる仕組み」について国の動向を踏まえ検討。とあるが、具体的にはどういうものか。
→ 国へ確認したわけではないが、例えばワークフロー型 AI エージェントの活用などが、

職員として効果を実感しやすいのではないかと考えている。

- AI により、仕事の仕方が本当に変わってきている。
ただ、使っていない人にはわからないので、例として、AI を使わないということは、出張の際に飛行機ではなく歩いていくようなものだと言っている。
何でもいいのでとりあえず触ってみる。ということが重要である。
- 金沢市は、庁内 DX は非常に進んでいるが、AI 活用に関してはそうとは言えない。
国はオープンソースの生成 AI を自治体に提供しているほか、他自治体でも高性能生成 AI を積極的に試し、活用を進めている事例がある。
金沢市も、ぜひ頑張ってもらいたい。
- プログラミングコードも生成 AI で作成するなど、学生は生成 AI の活用能力が高い。
デジタル行政推進リーダーと学生が組んで、生成 AI を活用し、行政側の課題を解決するアプリ等を開発するワークショップを開催してほしい。
→ ぜひ前向きに検討したい。

○議題 2 データ利活用について

- 資料 9 ページの、以前提言した「データマネジメント計画の整備」については、大きな話に聞こえたかもしれないが、高価なシステムを導入するということではなく、データの基本フォーマットの考え方やルールなどを整備してほしいということであった。フォーマットが異なると、連携のために大きなコストがかかるなどの課題がある。
- データを連携させるための整形ツールなども様々あるが、高価なこともあり、生成 AI を活用して、整形ツールの作成や連携調査などを実施してほしいのではないか。
- AI がオープンデータの主要な利用者になってきているが、データの品質低下はハルシネーションを発生しやすくするため、データの整形や構造化などによる高品質化が重要である。